

団体概要書

(その1)

団体名	公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 (<input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) りじちょう こばやし しょういちろう 理事長 小林 庄一郎		
主たる事務所の所在地	大阪府大阪市西成区岸里1丁目1番44号		
設立年月	昭和25年 3月25日	構成員数	445名
事業年度	4月 1日 から 3月 31日		
団体の活動目的	この法人は、交響管弦楽その他音楽の普及促進を図り、もって文化の向上に資することを目的としております。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 1 音楽		
主な活動内容	当協会は交響管弦楽（オーケストラ）による演奏活動を行うと同時に、大阪フィルハーモニー会館という市民も利用できる施設の運営を通じ、一般市民が気軽に音楽に触れることができ、演奏技術の研鑽に集中して取り組むことができる場所（市民スタジオ）を提供するなど、双方向から音楽の普及促進を図るための活動を行っております。 なかでも演奏活動については、平成26年4月に世界的指揮者・井上道義を首席指揮者として招き、年10回、毎回2公演開催している定期演奏会会場もフェスティバルホールに移すことで、大阪の音楽文化振興に新たな展開を加えております。		
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 直近、平成26年度の演奏に関する活動内容（演奏会実績）は、 <ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会 年10回 第477回(平成26年4月4日、5日)～第486回(平成27年3月20日、21日) ・マチネ・シンフォニー 年2回 Vol.11(平成26年5月21日)・Vol.12(平成26年11月13日) ・スペシャルライブ～吹奏楽 meets オーケストラ～ 年1回(平成27年2月6日) ・ソワレ・シンフォニー 年4回 ソワレ①(平成26年4月16日)～ソワレ④(平成27年1月15日) ・第九シンフォニーの夕べ 2公演 平成26年12月29日・30日 ・親子オーケストラ体験教室 4公演 平成26年8月2日・3日(2公演/日) ・その他、神戸特別演奏会、京都特別演奏会などの自主公演38公演、企業・学校等からの依頼公演62公演、そして80回を超える室内楽などの演奏会を実施しております。 		
ホームページ	有 (URL http://www.osaka-phil.com) / 無		
機関紙	有 (機関紙名 TIMES) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>交響楽団事業を安定的・継続的に遂行するためには、揺るぎない財政基盤が必要と考えますが、昨今の環境の変化に伴い、その確立が厳しい状況となっており、今後も安定して事業を継続していくため、いかにして財源を確保していくのか、これは今後の大きな課題です。</p> <p>一方、オーケストラが高いレベルの演奏能力の維持向上を図るためには、世界レベルの指揮者やソリストとの共演はもちろん、優れた音響のホールで演奏を重ねることが不可欠になりますが、しかしそこには当然、大きなコストが必要となります。</p> <p>今後、財政基盤を健全化しつつ、かつ、高いレベルの演奏能力を維持向上させること、これが当協会の喫緊の課題であると考えております。</p>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>当協会の現在そして将来に亘る最大の目的は、大阪だけでなく、広く日本の文化向上への貢献を安定して継続することです。なぜなら、何よりそれが大阪の文化面での価値向上につながると考えるからです。</p> <p>中でも演奏活動を通じて我が国の文化芸術の振興、そして大阪を中心とした地域活性化に今後も継続して貢献していくことは、大阪を代表するオーケストラである当協会の使命であると考えております。そのためにも前述の課題に取り組みつつ、特に近年増えつつある海外からのお客さまにも訴求できる、個性と魅力溢れるオーケストラを目指して、大阪でしか味わえない文化的な魅力を伝えていく所存です。</p> <p>大阪フィルはこれからも高い音楽性の追求と、更なる演奏技術の向上および文化の発展に資する、意味のある有益な演奏会の開催を通じ、高いレベルでの活動を継続していきたいと考えております。</p>
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>街には数多くの人が集まることで様々な価値観が存在しており、それが街の多様性を生み出しています。そうした中で文化的な価値を高めるひとつの指標として音楽、なかでも世界中の人々がその普遍的価値を共有できるクラシック音楽は、大阪という街の国際的価値を高める大きなメソッドであると考えられます。</p> <p>大阪の文化というと、ともすればお笑いという一面的な部分で語られることが多いですが、世界に目を向け、しかも海外からのお客さまが増えている現在において、言葉を必要としない、音楽という人類共通のコミュニケーションツールによって感動をもたらす世界的なオーケストラが存在することは、大阪の街の価値を大いに高めることにつながり、大阪に対して更に関心を持つとともに、大阪を訪れる大きな動機になると考えております。</p> <p>大阪フィルが今後も高い音楽性を持つオーケストラとして活動を継続できるようにするため、是非とも大阪フィルへの支援を考えていただきたいと考えております。</p>